

2016.9.28

土砂に埋まり 作業員が重体

松本の住宅建築現場

27日午後0時20分ごろ、松本市渚の住宅建築現場で、のり面の掘削工事中に土砂が崩れ、作業していた諏訪市四賀の土木作業員菊地浩さん(52)が下敷きになった。松本広域消防局の隊員らが約25分後に救出し、松本市内の病院に搬送したが、意識不明の重体。松本署が原因を調べている。

現場は奈良井川沿いの堤防沿路脇。救出作業を見ていた

近くの女性(82)によると、隊員らがシャベルで菊地さんを掘り出し、担架で救急車に運んだという。



掘削工事中に土砂が崩れた松本市渚の現場